

サーバマネージメント

サーバマネージメント

1.概要

Express5800 サーバには、ESMPRO/ServerManager、ServerAgent と呼ばれる包括的なサーバ管理ソフトウェアが提供されています。

さらに、**BMC(Baseboard Management Controller)**と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップを標準搭載することにより、ハードウェア障害等のためにオペレーティングシステムがダウンしている際においても、障害通報機能およびリモートコントロール機能を提供しています(110Ee 除く)。BMC は IPMI(Intelligent Platform Management Interface)と呼ばれる業界標準のサーバマネージメントインタフェースに準拠しています。

MWA(Management Workstation Application)と呼ばれるリモート管理ソフトウェアは、Express5800 サーバに標準で添付されており(110Ee、180Rb-7 除く)、BMC にて提供されるリモートコントロール機能および拡張 BIOS にて提供されるリモートコンソール機能と連携することにより、サーバダウン時においてもリモートからの迅速な原因究明と処置を可能とします。

2.BMC / MWA の提供するリモートマネージメント機能

Express5800 サーバ上の OS 稼働状況に依存することなく、以下のマネージメント機能を提供します。

■ リモート電源制御機能

サーバのリセット、電源 ON/OFF、ダンプなどを行ないます。

■ リモート情報収集

サーバのイベントログおよび、その他のハードウェア情報の取得と表示を行ないます。

- IPMI 情報

システムイベントログ(SEL)、センサ装置情報(SDR)、保守交換部品情報(FRU)

- BIOS 情報

CMOS データ、DMI(Desktop Management Interface)情報、
ESCD(Extended Static Configuration Data)情報、PCI 情報

■ サーバ状態の取得と表示

- 電源状態(DC ON/OFF)、ステータス LED 状態(色、点灯/点滅)、LCD 表示メッセージ
- システム通電累積時間
- システムストール監視状況およびその監視間隔

■ リモートコンソール機能(拡張 BIOS 機能と連携)

POST 実行画面、BIOS セットアップ、MS-DOS プログラム(英語モードのみ)の表示/操作を行ないます。また、管理 PC 上の FD からのリモートブートも可能です。

■ 障害検知と通報

L A N 経由、W A N 経由(COM2 ポートとモデムを使用)およびページャ(ポケベル)による障害通報機能を提供します。

3. 本体標準 RAS(Reliability Availability Serviceability)機能

■ Express5800/120Lf,120Md,140Hb,110Rc-1,120Ra-1,120Rc-2,140Ra-4,180Rb-7

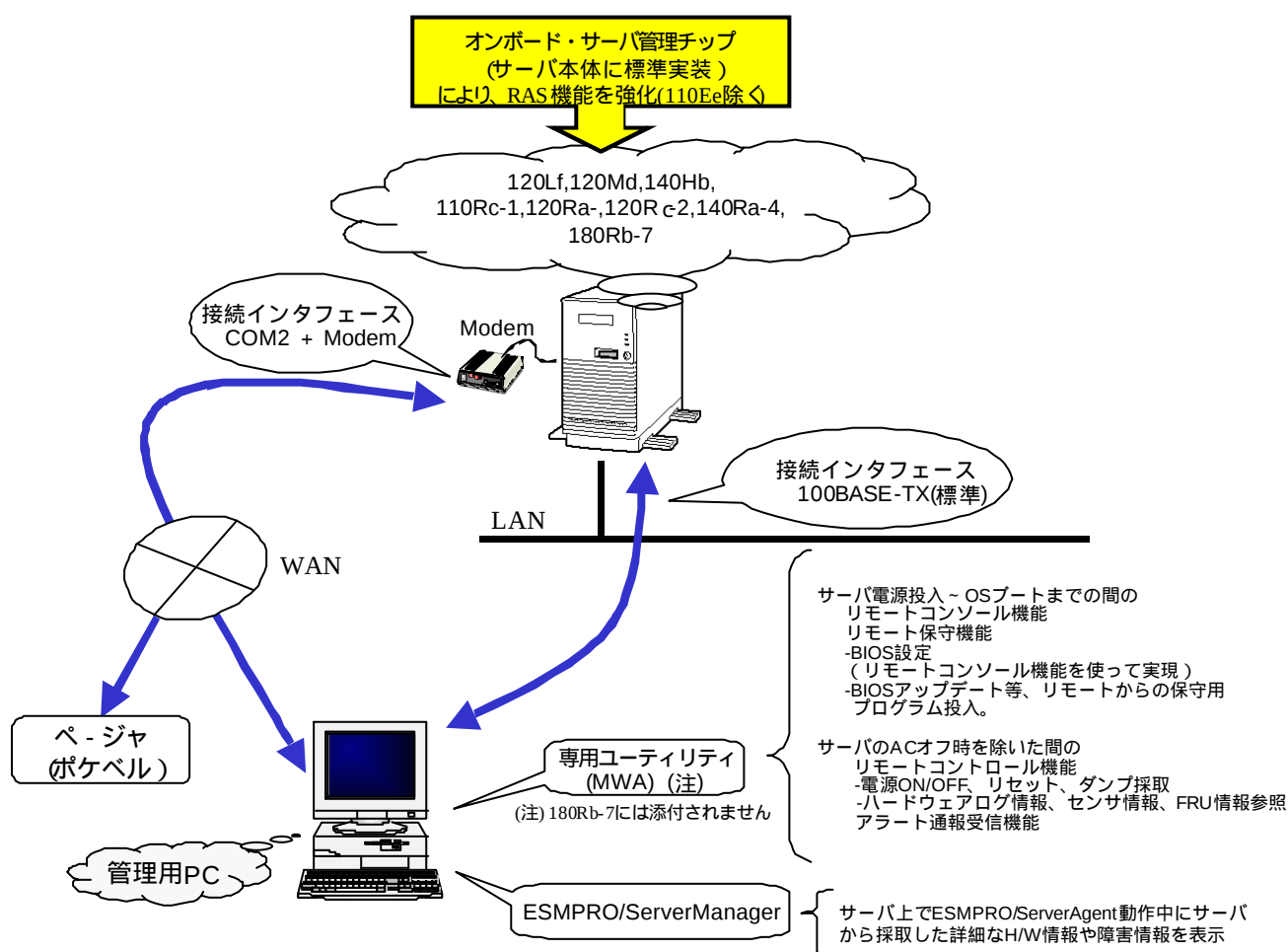
LAN(標準の 100BASE-TX)経由及び COM2(シリアルインタフェース)経由で管理用 PC と接続。

業界標準のサーバマネージメント仕様である IPMI(Intelligent Platform Management Interface)

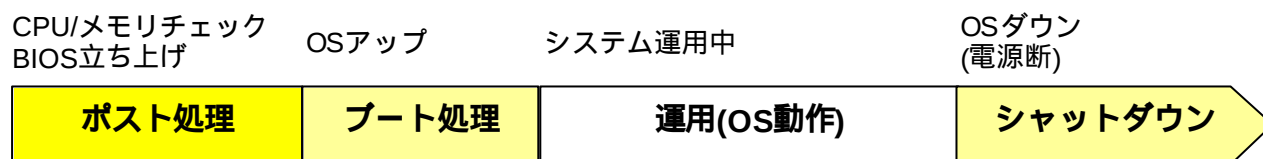
に準拠した BMC(Baseboard Management Controller)と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップ

をサーバ本体に標準搭載する事により RAS 機能を大幅に強化しています(110Ee を除く)。

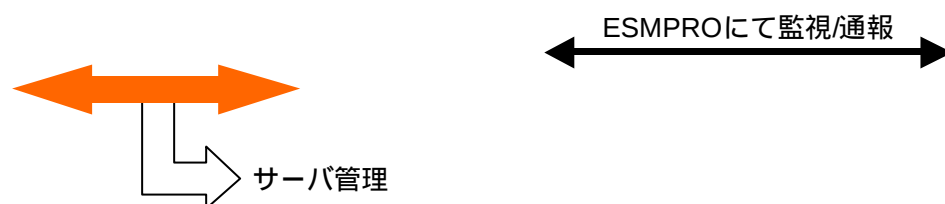
本モデルでは、従来オプションのサーバマネージメントボードにて提供されていたサーバ管理機能が標準構成でサポートされています。



■ 監視/通報可能タイミング

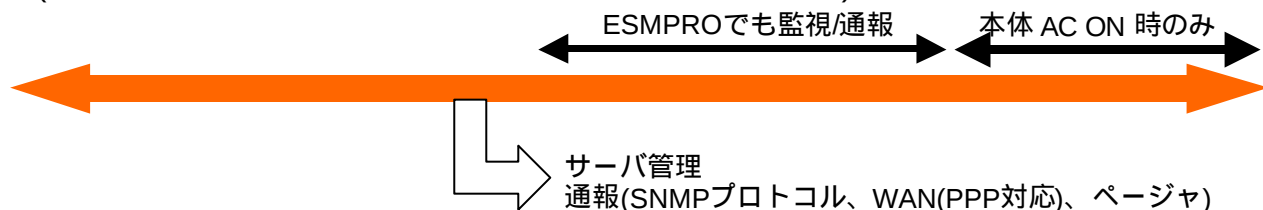


本体標準(110Ee, 180Rb-7)



本体標準

(120Lf, 120Md, 140Hb, 110Rc-1, 120Ra-1, 120Rc-2, 140Ra-4)



* 本体CPUストール時もサーバ本体に標準搭載されたオンボード・サーバ管理チップにより通報可能

■ 主な機能

		本体サーバマネージメント機能		
		180Rb-7	110Ee	110Rc-1, 120Ra-1, 120Rc-2,140Ra-4, 120Lf, 120Md, 140Hb,
サーバ監視 機能	電源異常監視	○	-	○
	温度監視	○	○	○
	電圧監視	○	○	○
	ファン監視	○	-	○
	筐体オープン監視	-	-	○ (*4)
	縮退情報監視(CPU, MEM等)	○	○ (*3)	○
	セキュリティ	○	○	○
	ハードウェア構成情報採取	○	○	○
	ハードウェアログ情報採取	○	-	○
ストール監視 機能	POST ストール監視	○	-	○
	ブート監視	-	-	○
	OS ストール監視	-	-	○
	シャットダウン監視	-	-	○
通報機能 (*1)	ポスト異常	-	-	○
	ブート異常	-	-	○
	ハードウェア異常	-	-	○
	OS パニック	-	-	○
ルート	LAN	-	-	○ (SNMP)
	COMポート(モデム経由)	-	-	○ (PPP)
	ページャ	-	-	○
リモートコン ソール機能 (*1)	POST / BIOS Setup	○	○	○
	MS-DOS ユーティリティ	○	○	○
	リモート FD ブート	-	-	○
	ルート			
リモートコン トロール機能 (*1)	LAN	-	-	○
	COMポート(モデム経由)	○	○	○
	リセット	-	-	○
	パワーON/OFF	-	-	○
	IPMI 情報取得 (ハードウェアログ情報、セン サ情報、FRU 情報等)	-	-	○
	BIOS 情報取得	-	-	○
ルート	COMポート(モデム経由)	-	-	○
	LAN	-	-	○
保守機能	リモート診断	-	-	○
	BIOS アップデート	○	○	○
	リモートブート(PXE ブート)	○	○	○
Wake On LAN		○	○	○
Wake On Ring		○	○	○
専用 RAS プロセッサ搭載(独立動作)		○	-	○
マネージメント機能動作電源		本体 AC 電源(*2)	本体 DC 電源	本体 AC 電源(*2)
IPMI サポート		Ver.0.9	-	Ver.1.5 (120Lf) Ver.1.0 (120Lf 以外)

サーバマネージメント

(*1)Express5800 サーバ上で動作する OS の稼働状況(OS 不在時/OS 動作時/OS 障害時)に依存しない機能

(*2)本体装置への 5V スタンバイ電源供給時(AC ケーブル接続)に動作可能、冗長電源構成時は電源障害時も動作可能

(*3)メモリの縮退情報のみ管理可能

(*4)ラックタイプ筐体では未サポートの装置あり